

東京トレッキングクラブ

T. T. C. 会 報 2013年2月号

会長：飯田隆一

<http://www.tokyo-trekking-club.jp/>

《 2 月 の 山 行 計 画 》

No. 2, 978 北八ヶ岳 < A >

L 飯田隆一

2月2日(土) 7:00 新宿発スーパーあずさ1号松本行=9:08 茅野 タクシー約40分北八ヶ岳ロープウェイ駅へ。ロープウェイ上駅から10:40 歩き出し-15分縞枯山荘-45分縞枯山-30分茶臼山-1時間10分麦草峠ヒュッテ(泊)

歩程：2時間40分+1時間30分……4時間10分 14:50 麦草峠ヒュッテに着く。

2月3日(日) 7:00 歩き出し-1時間10分丸山-15分高見石小屋-1時間30分中山-25分中山峠-1時間10分渋御殿湯=茅野駅

歩程：4時間20分+2時間……6時間20分 13:20 渋御殿湯に着く。渋御殿湯で入浴後14:48 発のバスで茅野駅に向かう。

地図：2.5万図“蓼科” 昭文社“八ヶ岳・蓼科”

費用：約25,000円

申し込み：1月28日(月)までに葉書、電話、FAXでリーダーへ。

備考：アイゼン(6本以上)、ダブルストック又はピッケル持参の事。尚、積雪の状態によってはワカンまたはスノーシューが必要になりますが、それは直前に参加者に連絡します。2月3日に渋御殿湯に泊りたい方は1泊2食8,550円です。

No. 2, 979 二子山 < B >

L 新井田晴義

2月9日(土) JR 逗子駅改札口9:20 集合 バスで長柄交差点へ。10:00 歩き出し-40分阿部倉山-50分二子山-30分森戸川林道終点(中尾根経由)-1時間乳頭山-20分茅塚-40分上山口小学校バス停=逗子駅

歩程：4時間＋1時間20分……5時間20分 15:20バス停に着く。逗子駅へ。

地図：2.5万図“鎌倉、横須賀”

費用：鉄道運賃＋600円

申し込み：2月7日（木）までに葉書、電話、FAXでリーダーへ。

備考：

No. 2, 980 ゲレンデスキー蔵王

L 佐藤ツヤ子

樹氷の丁度良い時期と思いますので楽しみです。温泉に入り、のんびり滑りましょう。

2月13日（水） 7:12 東京発（つばさ123号）＝7:18 上野＝7:38 大宮＝10:03 山形10:20（バス）＝11:57 蔵王温泉バスターミナル

宿で着替え午後から滑降。宿泊「KKR 蔵王白銀荘」〒990-2301 山形市蔵王温泉904-8 TEL023-694-9187（1泊2食9,300円）

2月14日（木） 終日滑降

2月15日（金） 午前中滑降。午後のバスで山形駅へ。解散。

費用：ジパング利用で約35,800円＋リフト代

申し込み：2月6日（水）までに葉書又は電話でリーダーへ。

備考：Lは大宮から乗車します。

No. 2, 981 西山三山

L 阪本弘二

神奈川県のアウ町から厚木市にまたがる人の少ない静かな低山を歩きます。

2月17日（日） 7:41 小田急新宿発小田原行き＝8:33 本厚木8:50 半原行バス1番乗り場＝9:25 上荻野 9:30 歩き出し－20分用野橋－20分大沢登山口－1時間高取山（発句石往復20分）－30分華巖山－40分経ヶ岳－1時間半僧坊バス停＝本厚木駅

歩程：4時間10分＋1時間20分……5時間30分 15:00 半僧坊バス停に着く。

地図：“上溝、厚木”

費用：約2,000円

申し込み：2月15日（金）までにハガキ、TEL、FAXでリーダーへ。

備考：

No. 2, 982 頭高山・神山滝から「まつだ桜まつり」 <C>

L 高橋輝男

2月24日(日) 7:31 新宿発小田急急行小田原行=8:45 渋沢 9:00 歩き出し-30分登山口(2.5万図渋沢地点)-20分尾根上-1時間10分頭高山(303.4m)-40分神山滝-45分JR松田駅-20分桜まつり会場

歩程: 3時間45分+1時間……4時間45分 13:45 桜まつり会場に着く。解散。

地図: 2.5万図“秦野” 昭文社“丹沢”

費用: 約1,600円

申し込み: 2月22日(金)までに葉書、電話でリーダーへ。

備考: Lは海老名から乗車します。お花見用品は桜まつり会場に着く前にコンビニで購入予定。

《 山行報告 》

No. 2, 961 鳴神山

パーティ: 大島/高橋(輝)、飯田、L新井田 計4名

11月3日(土・祝) 晴。予定を変更し桐生駅北口9:00発(おりひめバス川内線吹上行)のバスを利用し鷹ノ巣入口で下車。少し戻り庚申塔前を通り細い林道から石段を登り観音堂前で小休止。登山道は観音堂の裏を回り岩が現れて尾根に取り付く。道は明瞭で標識もあり吾妻山に到着。ここからも整備された道を標識に従って歩き、途中道から外れた萱野山(△568.3m)に立ち寄り大杉山に。金沢峠までは整備されているがここ以降は多少踏み跡が薄くなったが、めぼしいピークには標識があり慎重に進む。鳴神山手前には雷神岳神社があり、狼の石像がある鳥居を潜り桐生岳に。山頂からの展望は良く赤城山、袈裟丸山、日光の山々が望まれ、東京スカイツリー方面を指した標識もあった。下山は日没を考え皆と相談し仁田山岳には回らず鳥居まで戻り、予定を変更し駒形口に下った。

鷹ノ巣入口バス停9:10-小倉山観音堂9:30-吾妻山10:25-大形山12:50-鳴神山(桐生岳)15:15-駒形登山口16:15-吹上バス停16:50=桐生駅
(新井田 記)

No. 2, 962 御前山

パーティ: 北原、菊地、堅田、木原、滑川/阪本、佐藤(正)、大塚、田中、山

本、竹田（体験）、L河野 計12名

11月3日（土）晴。休日も重なり奥多摩駅は人、人でごった返しだった。鴨沢西行のバスはすでに2台まで満杯。3台目の臨時バスは奥多摩湖行であったので比較的空いていて乗車できた。境橋で下車。澄み切った秋の空気のなか歩き出し、まもなく栃寄沢の道に入った。沢に架けられた真新しい橋を数回渡り、まだ紅葉には少し早かったが空気が冷えていて歩きやすかった。ゆるい登りだったので1時間歩いても疲れを感じなかった。栃寄の滝は大きな岩の割れ目から水が勢いよく流れている様は見ごたえがあった。沢を登り切って都民の森に出た。トイレがあって少し休憩。ここから最後の登り道に入ったが落葉を踏みながら登る中腹は紅葉していたが頂上付近はすでに落葉していた。御前山は大勢の登山者で賑わっていた。私達も秋空の下昼食。下山は折り返しすぐ湯久保尾根を下りた。尾根通りは紅葉がまだ始まっておらず、雑木の緑が太陽に照り水々しくさえ見えた。時折紅葉した木、毒々しい蝮草の赤い実、清楚なお茶の花も咲いていた。又杉や檜の林立する間よりの木洩れ日は何とも言えず心を癒してくれた。ゆるやかな下りで時間の過ぎるのを忘れる程だった。伊勢清峰神社の鳥居を左へ下山。バス停の宮ヶ谷戸で解散。

境橋歩き出し9：00－栃寄沢9：30－栃寄の滝11：10－都民の森避難小屋11：30－御前山12：10～40－湯久保尾根分岐13：00－宮ヶ谷戸バス停15：40＝武蔵五日市駅
(菊地 記)

No. 2, 963 御岳山～大岳山～鋸山

パーティ：河野、飯島、村田、南出／石井、L山田（広） 計6名

11月10日（土）快晴。絶好の行楽日和でバス、ケーブルも満員です。ケーブルを降りてすぐに紅、オレンジ、黄と紅葉まっさかり。奥の院コースへ入ると人も少なくいい感じです。きれい！右見て！ほら左にもすごーい。足元も見て注意して歩いて、と言いながらにぎやかです。奥の院すぐ上には二等基準点がありました。多少岩場もあり。大岳山山頂は若い登山者でにぎわっていました。雪化粧をした富士山がきれいです。御前山を左に見ながら鋸尾根の長い下りです。鎖場は巻き、ひざが痛くなってきた頃に愛宕山神社の長い石段の下りがこたえました。花はありませんでしたが、さわやかな快晴の青空に紅葉を堪能しながら、しっかり歩いた一日でした。

ケーブル御岳山駅9：20－長尾平分岐9：40－奥の院10：20－鍋割山10：45－芥場峠11：00－大岳山11：55～12：15－鋸山13：35－愛宕山神社15：30～40－奥多摩駅16：00
(山田（広） 記)

No. 2, 964 小檜山 < B >

パーティ：佐藤(ツ)、菊地、河野、堅田、木原、飯島、村田、南出／松井、見目、L飯田 計11名

11月17日(土)快晴。焼山峠でタクシーを降り、9:40歩き出す。すでに紅葉は終わっていて落葉を踏みしめながら登る。気温は8度で少し寒いくらいだが気持ちが良い。大きな岩を左に見て、水がたまっている程度一杯水を過ぎると登山道の整備か草刈作業している人がいた。小檜山に着くと目の前一杯の富士山。僅かに雲があるが素晴らしい。誰がここに置いて行ったのか首輪を付けた犬が二匹いた。人懐っこいのに酷いことをするものだ。幕岩の下に荷物を置き登る。南アルプスが鋸岳から白根三山、聖岳まで見え素晴らしい。また金峰山の五丈岩も間近に見える。尾根筋にはつつじが多い。大沢ノ頭の日だまりで昼食。ここから父恋しに下るグループがいた。小檜峠で母恋しの道を分け、ここで父恋しと二つのコースを分ける。戦争と事故で両親を失った幼い姉弟が下ってことで名付られたそう。長い下りが始まった。一次の峠でいったん林道に出て見返り岩、差山(妙見山三角点)、妙見山と通過し鼓川温泉に着きタクシーで塩山駅に向かったが途中、柿と干し柿を安く売っていたので買い求めた。15:59の電車で丁度間に合った。今回は標高の高い峠まで車で登ったので下りが長かった。時期を換え新緑、つつじを見に再訪したくなる山であった。

歩き出し(焼山峠) 9:40—的岩 10:30—一杯水 10:45—小檜山 11:00—幕岩 11:45—大沢ノ頭 12:05~35—一次の峠 13:30—見返り岩 13:40—差山(妙見山三角点) 13:50—妙見山 14:15—鼓川温泉 15:10=塩山駅 (飯田 記)

No. 2, 965 金勝山から天神山 < C >

パーティ：島田、佐近、三橋、L中神 計4名

11月18日(日)快晴。東登山口の看板をみて舗装路から尾根に取り付き植林の中、木段を登り尾根に出る。わずかに紅葉する山腹道を進む。岩場の上をひと登りすると二等三角点の金勝山に着く。樹間から登谷山方面を望む。西へ丸太の急な階段を下り、プラネタリウムのドームのある“小川げんきプラザ”に着く。展望台に登ると外秩父の山々、浅間、榛名、赤城、日光の山々と素晴らしい展望で過ぎし日の思いがよぎる。昼食をとり展望台を下り遊歩道の舗装路は日に映える紅葉が美しい。国道に出て天神山に向かう。車の往来する歩道を北に進むと前方になだらかな山が見える。この先でLの判断ミスで30分ロス。国道に分かれて天神山の標柱に従い山道に入り緩やかな登りで、三等三角点の天神山に出る。ベンチで休憩し、広い尾根道の落ち葉を楽しみながら下った。やがて階段の道となり道路に出て、民家で道を尋ね駅に向かう。

東武竹沢 10 : 00—金勝山 10 : 45～55—展望台 11 : 15～12 : 15—舗装遊歩道 12 : 25—国道出合 12 : 45—天神山登山口 13 : 40—天神山 13 : 55～14 : 10—男衾駅 15 : 10
(中神 記)

No. 2, 966 岩松尾根～幕岩尾根 < B > L 高橋(輝)

雨天のため中止しました。

No. 2, 967 三角山から二子山 < B >

パーティ : 菊地、石井、阪本、河野、神戸、持田、山田(広)、佐近、村田/飯田、佐藤(正)、山本、L 阪本 計 13 名

11 月 25 日 (日) 晴。10 分程遅れた電車を横瀬駅で降り三菱マテリアルの工場前を通り最初の目標、西善寺に着くと朝からお参りの車で賑わっていた。3 号鉄塔入口の標識から登山道になり鉄塔を見て杉林を進みしばらくして岩場に突きあたる。ここを右からまいて尾根にのる。急登の尾根をかすかな踏み跡を忠実にのぼり途中小休止をして三角山へ。頂上は見晴らしもなく、見落としそうな小さな標識が木にぶら下がっていた。相変わらずの植林の尾根を行き急降下してススキの茂っている場所(間違え易い)を左に曲がり武川岳—二子山の稜線へ。しばらく行くと又急登になるが雑木林の紅葉を楽しみながら稜線に出て昼食タイムにする。焼山は省略して二子山であの山この山展望を楽しみ早めに芦ヶ久保にくだる。風の冷たい寒い一日でした。

横瀬駅 9 : 25—西善寺 10 : 00—三角山 11 : 10—武川岳—二子山の稜線 12 : 00 (昼食タイム 12 : 00～12 : 30)—二子山 13 : 00—芦ヶ久保駅 14 : 20 (阪本 記)

《 「ハイマツ」 について 》

飯田隆一

山では高く登るにつれて気温が低下します。そのため気温に応じた植生の配列ができあがります。低い方から常緑広葉樹林帯(照葉樹林帯)、落葉広葉樹林帯、亜高山針葉樹林帯と並んでいてこの亜高山針葉樹林帯の上限が森林限界です。森林限界を超えるとハイマツやさまざまな高山植物の生育する高度帯となり、北に行くほど気温が低下するので森林限界は低くなります。北海道大雪山では 1,600m 付近であり、アルプスや富士山では 2,500～2,600m 付近です。この様に 1 km 北上するごとに 1 m 下がるというのが日本の森林限界

の姿です。

アルプスに登った時、長い登りを終え 森林限界に出てハイマツの姿を見るとホッとする経験は皆さんもあるでしょう。ここまで来れば先の行程はもうそれほど長くないし、地形もなだらかになり景色も急に良くなるからです。

さて、このハイマツですが、どこから日本に来たと思いますか。日本とシベリヤが陸続きであった約2万年前の氷河期にシベリヤからやってきたのです。現在日本はハイマツの南限なのです。又驚くことにヨーロッパアルプスにはハイマツは存在しないのです。

ハイマツの葉は五葉であり、赤松や黒松の二葉松とは異なります。盆栽の世界では五葉のマツを葉の長さにより2種に分け、長いものをキタゴヨウ（一般には那須五葉、又は会津五葉と呼ぶ）、短いものを単にゴヨウマツ（四国五葉）と呼んでいます。高山にあるのはキタゴヨウの仲間です。

常緑であるハイマツは夏も冬もほぼ同様の姿をしています。しかし夏の盛んに生育している時の姿のまま冬の極端な低温にあうと細胞の中の水分が凍結して細胞は破裂し葉も枝も損傷を受けてしまいます。そこで凍結による細胞の破裂を防ぐために、ハイマツは冬場細胞内の水分を出来るだけ減少させますが、こうするとその反動で葉も枝も弾力性を失い物理的な破壊にたいへん弱くなります。夏のハイマツは折ろうとしても折れませんが、冬のハイマツはもろくすぐに折れてしまいます。また多雪地帯では雪に保護された部分には枝葉がついているが稜線部では雪片が次々と衝突してくるので雪の表面から顔を出した枝葉は削り取られて無くなってしまいます。従ってハイマツは雪の付かないような稜線沿いでは生育が困難になります。又雪の解けるのが遅いと雪が消えた直後から急いで光合成をするので種を作らないうちに次の雪がやってきますが、このような年が続くとハイマツは段々とその勢力を衰えさせます。従ってハイマツの生育する場所は雪が多く降り、しかもそれが割と早く溶けるところになります。以上によりハイマツは高山全面を覆うことなく生育に適した場所にまとまっているのです。ハイマツの生育環境はこのように厳しいものですから幹が直径10cmになるには100年かかると言われています。ハイマツを大切にしましょう。

最後にハイマツとホシガラスの関係について触れます。ホシガラスはハイマツの実をもぎ取り見晴らしの良い岩の上などに運んで食べるという習性があります。この時食い散らかしたハイマツの種が辺りに飛び散って種子の散布を助けるのです。又この鳥は食べ残したハイマツの種を地面に埋めるといった習性があり次の機会に掘って食べるのですが、これを忘れてしまうことがあり、ハイマツが発芽することがあります。このようにハイマツにとってホシガラスはお互いに助け合う仲間なのです。自然界の不思議な一面です。

《 お 知 ら せ 》

☆ 3月の山行予告

2月28日(木)～3月2日(土) ゲレンデスキー志賀高原 L 阪本弘二
3月23日(土) 安蘇山塊 赤雪山～仙人ヶ岳 L 高橋輝男
3月30日(土)～31(日) 唐松岳 <A> L 飯田隆一

☆ No. 2,974 狭山丘陵の軽便鉄道跡を歩く <C> L 中神琳枝を都合により次のように変更します。

No. 2,974 笛吹峠から岩殿観音 <C> L 中神琳枝

1月6日(日) 8:30 池袋発小川町行東武快急＝9:23 森林公園＝タクシー約15分笛吹峠 9:55 歩き出し－50分地球観測センター－35分物見山－5分岩殿観音－20分弁天沼－55分高坂駅

歩程：2時間45分＋2時間30分……5時間15分 15:10 高坂駅に着く。

地図：2.5万図“川越北部、東松山、武蔵小川、越生”

費用：約2,500円

申し込み：1月4日(金)までに葉書又は電話でリーダーへ。

☆ 次の方が再入会、入会しました。

No. 555 藤生美智子

No. 556 松尾良夫

☆ 最近地震が頻発しています。スキーをする方はご注意ください。地震が発生するとスキー場でも雪崩が起きることがあります。注意して下さい。

☆ 1月の役員会を1月10日(水)とお知らせしましたが1月9日(水)の間違えですので訂正いたします。

☆ 2月の役員会は2月6日(水)代々木区民会館18:30～20:30です。

☆ 3月の山行計画及び山行報告を12月31日(月)までに飯田まで提出して下さい。